

科目名

人間XVI「舞踊B」

担当教員

卑境

開講期

後期

BENCH1

BENCH3

BENCH4

■ 講義のねらい

- ・舞踏についての知識獲得
- ・舞踏の踊り、動きを実体験し、自分のからだと言葉・イメージなどの関係性を見直す。
- ・非言語的表現、肉体的表現の理解、経験、物や空間、人の観察力の向上

■ 講義の概要・進行予定

[舞踊B一問を見つめる]

前期「人間の知性と感性の認識XV(舞踏—自分のからだに向かい合う—)」で行った実技を主に展開する。「そこ」にいる自分が「そこ」を取巻く光、空気、空間、人といった外的要素に感応し、自分自身のなかから醸し出されるリズム、感情などをくみ出して踊る。また考察する。

【第1・4・7回】基本体操

【第2・3・5回】自分と自分のからだとのコミュニケーションⅡ

【第6・8・9回】自分と他人とからだのコミュニケーションⅡ

【第10・11回】空間・光・空気・人・言葉などの外的要素と自己の内なるものとのコミュニケーション

【第12～14回】小作品づくり

【第15回】小作品発表

■ 使用教材

【テキスト】随時、授業中に提供する。

【参考文献】随時、授業中に提供する。

■ 成績評価

【出席確認】リアクションペーパーにより出欠を確認します。

【評価方法】毎回の授業で提出してもらったリアクションペーパーの内容と、最終授業時に踊りの小作品を発表、レポートを提出してもらい評価します。

【評価基準】レポートの採点(40%)と小作品の発表の採点(20%)に授業の出席(20%)、リアクションペーパー(20%)を加味します。

■ 学習上のアドバイス

- ・実技でからだを動かすので、動きやすい衣装を着て参加すること。Gパンやスカートははかないで下さい。
- ・ダンスや舞台の経験の有無は問いません。技術的な良し悪しに関係はありません。気楽に参加してください。
- ・踊りといっても音楽、リズムに合わせて踊るとは限りません。授業中は音楽は使いません。難しく考えず、恥ずかしからずに体を動かしてみましょう。
- ・授業時に理解できないことがあったら、挙手により遠慮なく質問をしてください。